

統合準備部会 | 通学支援現地調査&検討結果について

5月24日16:00～現地確認

6月2日18:30～拡大評議員会

6月11日教育講演会にて全保護者へ説明

確認者：百武、荒久田、横道

通学支援におけるバス通学の懸案事項等について、現地確認及び保護者への意見お伺いの結果、下記のとおりとなる。こちらの内容で、統合準備委員会へ要望する。

1 本山地区の通学について【中型バス | 乗車・降車 | 12名】

現地調査の結果、「旧本山小学校体育館前」の敷地内に待機することで、「児童の安全な待機及び乗降が可能である」と確認できたため、中型バス待機場所を本山体育館の敷地内とする。



2 うつぼ木地区の通学について【ジャンボタクシー | 乗車・降車 | 5名】

現地調査の結果、「天風道横」「王天家窯」の敷地内に待機することで、「児童の安全な待機及び乗降が可能である」と確認できたため、ジャンボタクシー待機場所を「天風道横」の敷地内と「王天家窯」2か所とする。



↓「王天家窯」既存のバス停もあり、乗降箇所として問題ないと確認する。



3 岩屋・新屋敷地区の通学について

【<A案>大型バス1か所 | <B案>中型バス2か所 | 乗車・降車 | 45名】

<A案>現地調査の結果、「きたむら駐車場」の敷地内に待機（県道内のゼブラゾーン

で停車) することで、「児童の安全な待機及び乗降が可能である」と確認できたため、大型バス待機場所を「きたむら駐車場」の敷地内とする。

「きたむら駐車場（県道内のゼブラゾーン）」にて、岩屋・新屋敷全児童を大型バス1か所で乗降する。それに先立ち、「きたむら駐車場前」のゼブラゾーンをバスの一時停車帯として利用可能か道路管理者（佐賀県）と協議を要望する。



<B 案> 中型バスで岩屋・新屋敷地区それぞれに乗降場所を設ける。岩屋地区は先述の通り、「きたむら駐車場」にて乗降。新屋敷地区は「赤い公園」の敷地内に待機することで、「児童の安全な待機及び乗降が可能である」と確認できたため、中型バス待機場所を「赤い公園」の敷地内とする。（新屋敷公民館前を検討していたが、道路幅が狭いのと、自動待機場所のスペースが狭いという判断に至った。また、大型バスで新屋敷地区を通行するのは困難と判断。）



4 浪瀬地区の通学について【中型バス | 乗車・降車 | 7名】

現地調査の結果、「既存の縄手バス停」、「浪瀬公民館」の2か所の敷地内に待機することで、「児童の安全な待機及び乗降が可能である」と確認できたため、中型バス待機場所を「既存の縄手バス停」、「浪瀬公民館」の敷地内とする。なお、本山地区と浪瀬地区は同じ中型バスに乗車する。(行：本山地区→浪瀬地区 帰：浪瀬地区→本山地区)



5 学校到着時の乗降について

現地確認の結果、旧プール跡地を利用する場合、プール跡地から運動場への横断はカーブがあるため視認性が確保できず、危険であると判断される。

このため、プール跡地から県道板屋巖木の路肩を通り、県道相知巖木線の歩道を通って通学することとなるが、うつぼ木小学校児童約80名が一斉に登下校することを考えれば、安全な歩道の整備が必要となる。幸い、中学校敷地側へは余地を確保できるようであるため、敷地を利用して歩道設置を要望したい。

その他、現在の「職員・来客駐車場」を到着時の乗降場所とする案もあるが、未だ検討段階である。



以上、2023年6月14日時点の最新情報です。

今後も、経過報告に努めますのでご理解ご協力よろしくお願いいたします。

御不明な点、御質問などありましたら、学校（教頭先生）を通じて横道までお知らせください。